

- 問1 成田国際空港における貿易の状況について、航空貨物としての特徴を踏まえた記述として、最も適切な背景や理由を説明しているものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 京葉工業地域の中心に位置し、石油化学コンビナートで生産された製品を直接輸出する役割を担っているため。
 - 広大な敷地を利用して、自動車を数千台規模で一時保管し、そのまま海外へ積み出す設備が整っているため。
 - 日本最大の輸入相手国である中国に最も近いため、安価な原材料を大量に受け入れる拠点となっているため。
 - 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。
- 問2 複数の鉄道が利用できる利便性の高い地域において、かつて工場や駐車場、厚生施設などが広がっていた広大な土地が取り壊され、跡地に20階を超えるような高層マンションが建設される事例が増えています。このような都市再開発に伴う土地利用の変化と、その結果として生じる現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 都心部での工場の新設が促進され、周辺地域との工業的なつながりが強まる。
 - 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。
 - 郊外への人口流出が加速することで、都心部の夜間人口が大幅に減少する。
 - 低層住宅を中心としたゆとりある住宅街が形成され、土地利用の集約度が低下する
- 問3 千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺の海食崖が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- フィヨルド
 - リアス海岸
 - 砂浜海岸
 - 干拓地
- 問4 千葉県の東京湾沿いの地域には、石油・石炭製品を扱う大規模な工場が集中しています。このような工業が、内陸部ではなく特に臨海部に立地している理由として最も適切な説明を次から選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- 冷却水として大量の真水を確保するため、大きな河川の河口付近が選ばれたから。
 - 製品を消費地である東京都心へ、船を使って短時間で運搬するため。
 - 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。
 - 工場から出る排気ガスによる大気汚染の影響を、海風で最小限に抑えるため。
- 問5 関東地方の各県を比較した統計資料において、海水面での漁業が行われないため「漁業生産量」が0トンであり、地理的に海に面していない「内陸県」に該当する県はどこですか。県庁所在地が宇都宮市である県を次の中から選びなさい。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- 栃木県
 - 千葉県
 - 群馬県
 - 茨城県
- 問6 ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- 等高線が示す標高の値
 - 道路の舗装率
 - 河川の流域面積
 - 市街地の人口密度
- 問7 東京都の人口統計において、練馬区や江戸川区、杉並区などの区に見られる人口の特色を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- 都心のオフィスビル化が進んだ影響で、昼夜を問わず人口が減少しており、夜間人口が昼間人口を下回る状態が続いている。
 - 住宅地としての人気が高まって都心から多くの企業が移転してきたため、昼間人口が夜間人口を大きく上回る。
 - 都心へ通勤・通学する人が多いため、その地域に住んでいる人の数（夜間人口）が、昼間にその地域にいる人の数（昼間人口）を上回る。
 - これらの区はベッドタウンとしての機能を失い、現在は昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。
- 問8 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。
 - 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。
 - 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。
 - 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。
- 問9 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 東京都
 - 神奈川県
 - 埼玉県
 - 千葉県
- 問10 統計資料において、農業産出額が2,400億円を超え、製造品出荷額等も約7.8兆円と非常に高い水準にありながら、発電形式別の発電電力量では火力発電（約1.6億kWh）に対し、水力発電（約40.6億kWh）の割合が極めて高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- 静岡県
 - 群馬県
 - 愛知県
 - 東京都
- 問11 東京都の南に位置する横浜시는、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。
 - 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。
 - 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。
 - 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
- 問12 ある地域の居住者100人あたりの昼間人口の割合を示す「昼間人口比率」について、東京都の統計（2015年）では昼間人口が約1,592万人、夜間人口が約1,352万人となっています。このデータから導き出される東京都の状況について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- 居住者数と勤務者数がほぼ一致しているため、昼間人口比率が100前後で安定している
 - 夜間人口が昼間人口を大幅に上回っており、昼間人口比率が100未満の数値を示している
 - 周辺県への勤務・通学による流出が多いため、昼間人口比率が100を下回っている
 - 周辺県からの通勤・通学による流入が多いため、昼間人口比率が100を大きく超えている

答え合わせ・解説

問1	答え 4 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。	航空貨物の最大のメリットは「速さ」にあります。成田国際空港が日本の輸出額でトップクラスなのは、流行や技術革新のスピードが速い電子部品や精密機械、あるいは鮮度が求められる品物を、短時間で世界中に届けられることができるからです。自動車の輸出は広大なヤード（保管場所）を必要とするため、通常は海港で行われます。
問2	答え 2 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。	鉄道の結節点など交通便利性の高い地域では、かつての工場跡地などを利用して大規模な高層マンションを建設する再開発が行われます。これにより、限られた面積の土地をより効率的に、かつ多人数が居住できるように活用する「土地利用の高度化」が進みます。この現象は「都心回帰」とも呼ばれ、かつて減少傾向にあった都心部の人口が急増する要因となっています。
問3	答え 3 砂浜海岸	千葉県は九十九里浜は、日本を代表する砂浜海岸の一つです。山地が沈水して複雑な入り江を作るリアス海岸とは異なり、砂が堆積することで平坦で単調な景観が作られるのが特徴です。九十九里浜は背後に広大な平野（九十九里平野）を伴っており、古くから地引網漁なども盛んに行われてきました。
問4	答え 3 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。	石油・石炭製品の製造には広大な敷地が必要です。千葉県の臨海部は大規模な埋め立てによってその用地を確保してきました。また、日本は石油資源のほとんどを海外に依存しているため、原料を運ぶ大型船が直接接岸できる臨海部は、原料の輸入に便利であるという決定的な利点があります。このような背景から、京葉工業地域では化学工業や石油・石炭製品の割合が高くなっています。
問5	答え 1 栃木県	栃木県は関東地方の北部に位置し、周囲を他の県に囲まれて海に面していない「内陸県」です。この地理的特徴により、統計上では海水面漁業による漁獲量が算出されません。同じ関東地方の内陸県には群馬県や埼玉県もありますが、県庁所在地が宇都宮市である点から、栃木県であることを特定できます。
問6	答え 1 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。
問7	答え 3 都心へ通勤・通学する人が多いため、その地域に住んでいる人の数（夜間人口）が、昼間にその地域にいる人の数（昼間人口）を上回る。	東京23区内であっても、全ての区で昼間人口が多いわけではありません。練馬区、江戸川区、杉並区などは主に住宅地としての性格が強く、千代田区などの都心部へ通勤・通学する人が多いため、昼間は人口が流出します。その結果、居住者の数である「夜間人口」が、昼間にその場に留まっている「昼間人口」を上回ることになります。このように、昼夜間人口比率が100を下回る地域は、郊外のベッドタウンと同様の人口構造を持っています。
問8	答え 2 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。	婦恋村は標高が高く、夏場でも気温が低いという地理的利点があります。平地の産地では気温が上がりすぎてキャベツの品質が落ちる7月から10月の時期に、婦恋村は出荷のピークを合わせることで、市場における競争力を高めています。このように出荷時期を遅らせる栽培方法は、暖かい気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な特徴を持ちます。
問9	答え 4 千葉県	千葉県は東京湾沿いの埋立地を中心に、石油コンビナートや化学工場が集積しており、京葉工業地域を形成しています。そのため、全国と比較しても石油・石炭製品や化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。一方で、神奈川県は京浜工業地帯に属し輸送用機械が盛んであるなど、県によって産業構造が大きく異なります。
問10	答え 2 群馬県	この県は関東地方北部に位置し、全国有数の農業産出額を誇ると同時に、北関東工業地域の一角として輸送用機械などの製造業も盛んです。最大の特徴はエネルギー構造にあり、利根川の上流部にあたる豊富な水資源と山地の急峻な地形を活かした水力発電が、火力発電を大幅に上回る規模で行われています。
問11	答え 2 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。	横浜は1858年の日米修好通商条約などに基づき、1859年に開港されました。それ以降、日本の玄関口として発展し、人口も増加し続けました。高度経済成長期を経て老朽化した港湾施設や工場が並んでいた臨海部では、1980年代から「みなとみらい21」などの計画的な再開発が実施され、都市の活性化と国際競争力の強化が図られています。
問12	答え 4 周辺県からの通勤・通学による流入が多いため、昼間人口比率が100を大きく超えている	昼間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。東京都は日本の政治・経済・教育の中核機能が集中しているため、埼玉県、千葉県、神奈川県などの周辺自治体から多くの通勤・通学者が流入します。その結果、昼間人口が居住者（夜間人口）を大幅に上回り、数値は100以上の高い水準（約117.8）となります。